

# ほうじん報告書

## 第19号 2015年1月

特定非営利活動法人こころ

URL <http://www.hcc-kokoro.jp/>

ハートケアセンターこころ・こむぎ・相談室こころ

〒428-0007 島田市島 581 番地の 14

TEL 0547-46-5561 FAX 0547-46-5566

・りなむ : 島田市金谷中町 2100 番地の 1

TEL 0547-46-1687・FAX 0547-45-5165

・さがら作業所 : 牧之原市福岡 1 5 7 番地 1

TEL 0548-52-7447・FAX 0548-28-6622

・地活はぐるま・あじさい: 牧之原市勝俣 1926 番地 1

TEL 0548-22-5529・FAX 0547-23-9340

### 念願の「新さがら作業所」スタートの年！そして「こころ温かく平安な年」

新年明けましておめでとうございます。

2015年、今年は未（ひつじ）年です。羊にはその性質から、群れをなし、穏やかで優しく温かさがあり平和の意味が込められております。故に本年が、地球上の全てにおいて、そのような平安な年であって欲しいと願ってやみません。

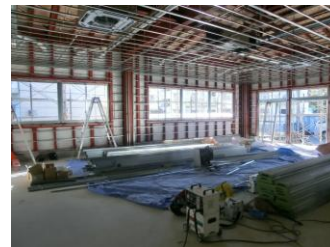


昨年は、2月に当法人の10周年式典を行い、秋には就労継続支援 B 型事業『りなむ』の2つの工房を一つに合体し、市内金谷中町において『新生りなむ』の誕生となりました。そして本年は新さがら作業所スタートの年です。これは牧之原市福岡地区で活動している『さがら作業所』を同市菅山地区に移転新築する事業であり、数年来の懸案重点事項としてきたことであります。昨年8月より新築工事が始まり、この春3月には完成し、4月に竣工式を執り行い、活動スタートとなります。これまでに行政当局を始め多くの皆様の多大なるご支援によるものであり、深く感謝する所です。この春が楽しみであると同時に責任の重さを感じているところです。

また今年は、狭小である『はぐるま・あじさい』（牧之原市榛原地区）の移転先等を具体化しなければと考えております。この他に法人の社会福祉法人化等を含め、まだまだ多くの課題を抱えているところです。本年もスタッフ及び役員一同、冒頭に記しましたように温かな『こころの活動』を進めるとともに、これらの課題に向かって邁進することをお誓いし新年のご挨拶といたします。

理事長 山城厚生

12月20日現在の内部



12月20日現在の外観



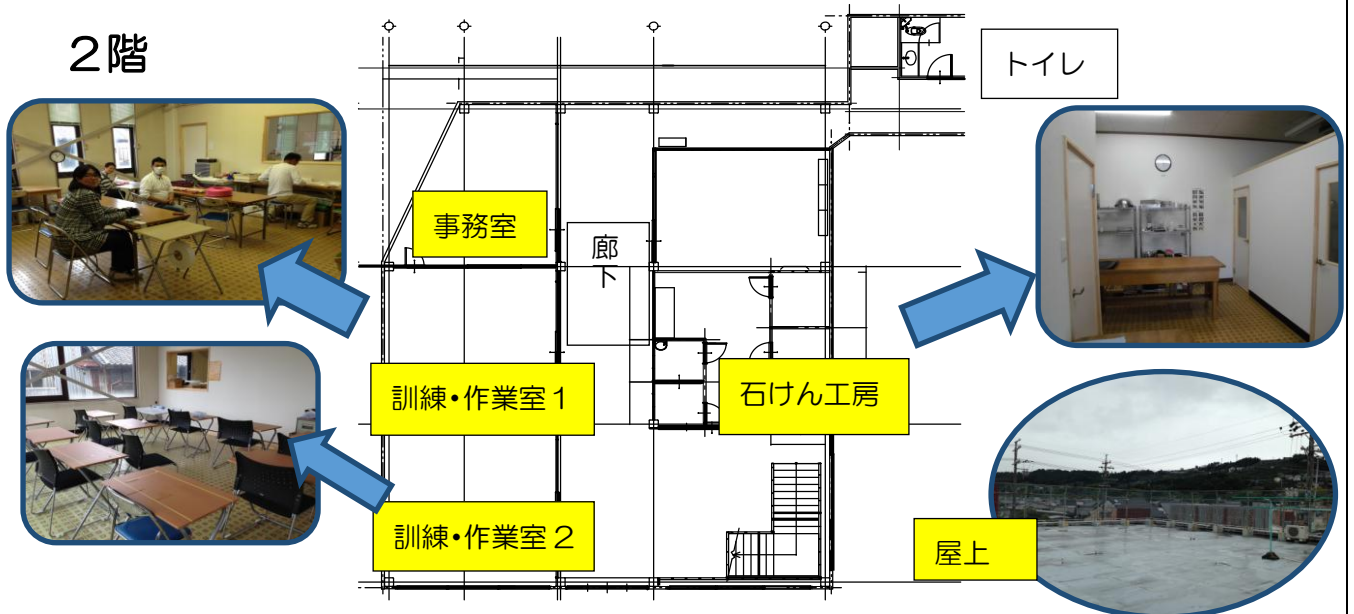
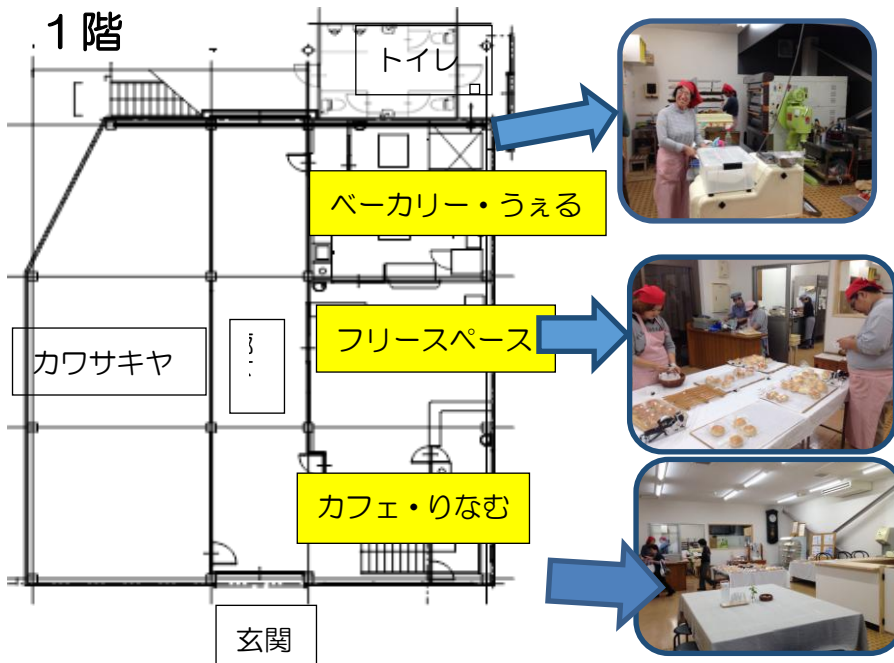
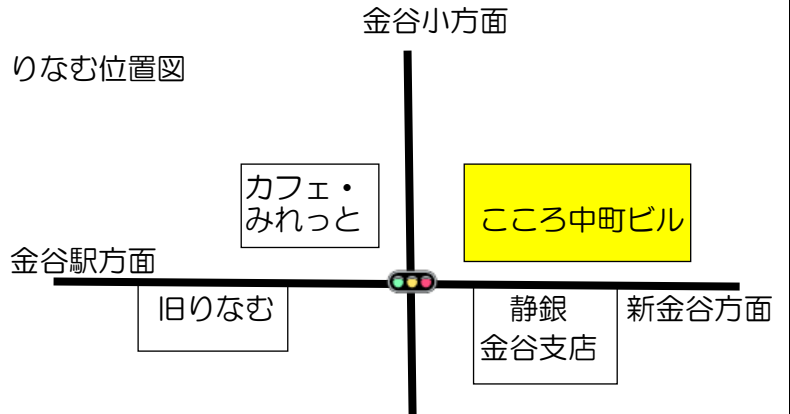
### さがら作業所を移転します。

移転場所	牧之原市菅ヶ谷
工事完成予定	平成27年2月27日予定
引越し	平成27年3月
開所	平成27年4月1日
竣工式・内覧会	平成27年4月10日予定



# 「いなむ」を移転しました。

手狭であった「りなむ」と「ベーカリー・うえる」を島田市、金谷駅前通り商店街組合、地域の皆様のご協力により 11 月に金谷中町に統合移転しました。



## 平成 26 年度中間報告

### 1. 相談室こころ(相談支援事業)

今年は計画相談の最終年であることが大きく影響し、相談支援がそのことに追われ、本来のソーシャルワークを実践していくことの困難さがありました。しかし、一方で、こうした状況があらためて相談支援のあり方を考える機会ともなり、そのひとつの取り組みとして、榛南榛北の二市二町の委託相談支援事業所が集まり、本来の相談支援の流れと視点の確認するためのDVD作成を実施しています。こうした、個別の相談支援に留まることなく、地域全体を俯瞰しながら、事業所の枠を超え、実践を同じくする仲間が連携し、相談支援体制を考える機会を作ることができていることは、27年度以降の活動の軸となっていくものと考えています。

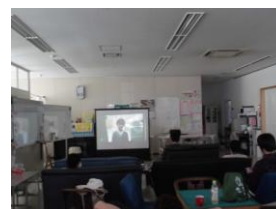
一方、「地域相談」は、前年より支援をしてきた3名の方々は地域移行し、新たに1名の方を支援中です。ニーズにタイムリーに答えられるだけの体制が十分とはいえない中、医療と福祉が有機的に連携しながら円滑な地域移行を進めていくための取り組みを止めることのないよう地域全体の課題として取り組んでいきたいと思えます。また、地域定着支援は現在4名の方を支援しています。これは、365日24時間の緊急時対応の体制をとるために、通所のみで事業所で対応できる人数に限りがあります。しかし、このサービスは障害者総合支援法によって新たに生まれたものであり、地域生活支援を行っていくうえで、非常に有効的なものでもあります。そして、対象となる人は潜在的には非常に多く存在していると思われれます。

以上のような、実践の中でみえてきた様々な課題を地域の課題として検討していくエンジンとなるものが委託の相談支援事業所の役割でもあります。単に目の前のサービスの利用のみに関心がとどまることがないように、ソーシャルな視点で今後も相談支援事業を実践していきたいと思えます  
(菅原小夜子)

### 2. 地域活動支援センター事業

#### 1)ハートケアセンターこころ(島田市補助事業):基礎事業+機能強化I型

平成25年12月より試行的に実施した島田駅前でのサテライトを、今年度より正式な活動として位置づけ、月2回(1日と半日)実施しました。しかし、未だ利用人数は少なく、まだまだ周知がされていないことが課題としてあります。今後も、医療機関や相談支援事業者等とも連携をし、多くの必要とされる方々へ情報が届くように努力していきたいと思えます。そして、地活という場を通して、その人の中にある力が発揮できるように一緒に取り組んでいきたいと思えます。また、今年度は「外とのつながり」を意識し、他事業所や法人内の牧之原市で実施しているはぐるまとの交流を行いました。場がつながることで人がつながり、互いの良さを確認し合う機会となり、今後も積極的に交流を図っていききたいと思えます。



サロンでの映画鑑賞



12月:ボランティア交流

さらに、メンバーの自主活動としてWRAPが徐々に認知度が高まり、他県からの参加者が増えてきています。一方、地元の方々の参加が少ない状況があり、当地域での関心の高まりを期待します。そして、実質的な自主的活動へとパワーアップしていくことを応援していきたいと思えます。また、従来行っているクラブ活動についても、単に活動をするのではなくミーティングを重ねながら、一緒に悩み、それを通して多くのことを学ぶ機会となっています。こうした様々な機会をとおして自分なりに過ごすことと同時に、仲間とのやり取りの中で「生きる力」を蓄えていく場にもなっています。(菅原小夜子)

## 2)地域活動支援センターはぐるま（牧之原市補助事業）：基礎事業＋機能強化Ⅱ型

就労継続支援 B 型事業（あじさい）との同一建屋内での実施によって、開所当初は時間帯によっては地活利用者が非常に少ない状況がありましたが、徐々にそれぞれの事業を自分のペースに合った利用の仕方をされる方が増え、利用者人数が昨年より増加傾向にあります。



イベントの準備

また、メンバーの声から「久能山と三保」への小旅行が企画され、何度もミーティングを重ねながら、発案から約6ヶ月後の10月に実施することが出来ました。さらに、フットサルチームが徐々に動き始め、今までにない全事業所の参加による取り組みを地活はぐるまが中心となって進めていくことになっています。このようなプロセスを通して、様々な場面で一人ひとりの力が発揮され、徐々にみんなで作り上げる地域活動支援センターへと少しずつ変化してきていると思います。



健康講座

一方、利用者の増加は、物理的には非常に手狭な状況となっています。

今後、多くの方々のニーズにあう環境を提供していくためには、具体的に物理的環境整備について検討が急務と考えています。  
(菅原小夜子)

## 3. 就労継続B型事業

収容継続B型事業利用者より4月以降7名の方が一般企業等に就職(予定含む)出来ました。

内訳：就職者5名(りなむ2名、こむぎ1名、さがら作業所2名)、就職予定者2名(りなむ)

### 1)りなむ（就労継続B型事業）

りなむでは上半期いくつものイベントに参加してきました。

その代表的なものはSLフェスタです。10月12日それまで事業所があった金谷本町と引っ越し先の金谷中町の間を行ったり来たり。赤いエプロン姿の利用者さんがまさに金谷駅前通りの二つの町をつなぐ架け橋となりました。



りなむの花

毎月1回の茶話会は年度初めにみんなで計画を立てました。バラエティに富んだメニューです。浴衣着付け教室、餃子パーティー、ケーキデコレーション、メイクアップ教室、「フェアコミフェス in しずおか」への参加、等々楽しい思い出がたくさんできました。

作業はもりたくさん！！パン屋さん、カフェ、花火の袋詰め、糸巻き、テープカットそれから二つの施設外での作業、どれも根気と忍耐のいる仕事です。

さまざまな就労の形を利用者さん一人ひとりのペースや目標に合わせ組み立てられることがりなむの特徴です。毎日の作業をやりとげるという達成感の積み重ねが自信となり「なりたい自分」への夢へと広がっていきます。Aさんはいくつもの実習経験を重ねた末、スーパーへ就職をしました。Bさんは介護者初任者研修を修了し、いくつもの資格を取得しました。

Cさんは事業主委託訓練生として就職への一歩を踏み出しました。地域のみなさんと共に町の元気の源となりながら、どの利用者さんの胸の中にも「明日はもっと素敵な一日」という希望の光がいつもさしている、それがりなむの目標です。

(柳川久子)



10月：SLフェスタ



11月：フェアコミフェス

## 2)こむぎ (就労継続B型事業):定員 20名

今年度は、登録者 24 名でスタートしました、就職により退所者もありましたが新たな登録者があり現在は 32 名です。一日当たりの利用者数は目標である 20 名には達していませんが利用者数は徐々に上がっています。今年度から作業内容を部門に分けて利用者の力量や強みを生かす工夫に取り組んできました。また、自主製品部門では昨年度県社協の工賃アップ助成金により購入した煎餅焼き機で「せんべいづくり」に取り組むイベント等で販売し好評を得ることができました。静岡ベストコミュニティのコンクールにも応募して利用者がプレゼンに臨むと言う貴重な体験もしました。今後も改良を重ねて利用者の工賃アップにつなげたいと思っています。さらに新たな自主製品製作についても取り組みたいという希望も出てきたので、目的について利用者と共に改めて話し合う機会を作りました。ミーティングを重ねていくことで利用者と職員が一緒になって作り上げていきたいという思いを確認しあうこともでき、目指すは、「クオリティーの高いもの」であり、その活動により「地域の人とのつながり」をより深めていきたいという目標もみえました。この目標は自主製品に限らず、すべての部門にも言えるということも皆で確認できました。次は実践に向けて取り組んでいくこととなります。これからも「ともに歩む」姿勢を大切に一步一步進んでいきたいと思えます。(渡邊里佳)



ふれあい広場参加



NEXCO 中日本草刈り

## 3)さから作業所 (就労継続B型事業):定員 30名

うれしい報告が 2 つあります。1 つ目は、新施設の建設が順調に進んでいることです。出来あがっていく様子を見ながら、来年度の作業風景や食事の時間を思い浮かべて、完成する日を心待ちにしています。今年度の目標にも上げたとおり、移転の為に通所が困難になったり、不安になったりしないように、今後送迎も含めた通所方法などの具体的な検討に入っていきます。

秋の公民館祭りでは、菅山区の方々から、「また菅山に戻って来るんだね。」と声をかけていただき、福岡区の皆さんは、「淋しくなるね。」と言ってくださいました。とてもうれしい言葉でした。移転までの 3 ヶ月を、福岡区での 7 年間の活動を振り返りながら、感謝の気持ちを持って充実した日々にしていきたいと思えます。

2 つ目は、10 月に 2 名の方が就職したことです。一人は、挑戦と失敗、振り返りを積み重ねて自分の働き方を見つけました。一人は、挑戦することを悩みながらもじっくりと準備してから、大きな 1 歩を踏み出しました、ここに至る経緯は違っていました、自分の夢の実現に向かっています。それぞれの会社で頑張っている様子も時々報告してくれています。

また、日々の活動では、作業以外にも法人の行事や社会貢献活動、楽しみにしていた旅行について、実行委員会を中心に話し合い、実施されています。考えて意見を出し、出た意見を貴重な意見としてとらえ、検討する、歩み寄る、決める、決めたことを責任をもって協力して実行する。そして、振り返ってみる。ということが繰り返されるようになりました。「主体的にとは…」を、利用者も職員も一緒に悩みながら、楽しみながら作業も、行事も進めています。社会貢献活動については、3 月の発表に向けて、実施したことの振り返りとまとめをしていきます。



旅行ミーティング



ドリーム牧之原での販売

(高塚むつ代)

#### 4)あじさい(就労継続B型事業):定員10名

7月に、あじさい1周年セレモニーを開催してお祝いしました。その時語り合った「でっかい夢」は、ほんとに大きくて、前向きなものばかり、文字どおりでっかい夢に拍手喝采で盛り上がる様子に感動しました。あじさいという場所で、自分たちの働き方を見つけ、大きな夢に向かって、少しずつですが着実に進んでいます。作業では、内職作業も気付かないうちにスピードが上がっています。トイレットペーパーの包装もびっくりするほどきれいにできるようになっています。イベントでの販売では、お客様の言葉に、しっかりと答えて説明をしたり、お礼を言ったりしています。そんな積み重ねが実ってきて、年末には、初めてのボーナスを支給できました。昨年には、「ボーナスを支給するほどの収入がない」という報告を聞いた利用者が、涙を流したことを忘れられません。ボーナスと言ってもほんのわずかな金額ですが、このボーナスは、利用者にも職員にも大きな喜びと勇気をくれました。そしてこの喜びと勇気をくれたのは、あじさいの皆さん自身と、それを応援して下さる皆さんです。作業をして、工賃をもらうという単純なことではない、『あじさい』の役割や、あじさいで働くことの意義、それぞれの働き方を確認しながら、その人らしく生きて行くための一つの場所としての『あじさい』を、みんなで作り上げて行きたいと思います。(高塚むつ代)



1周年記念



トイレットペーパー包装

### 26年6月～12月の主な法人イベント報告

#### 1. 第10回夏祭り:8月16日(ハートケアセンターこころ)

「ありのまま こころのままに 夏祭り Let it go」のテーマで開催し、約300名の来場者がありました。藤枝市の似顔絵ういすい、ボランティアのそば打ち、ステージ発表、自主製品販売、ゆるキャラおしまちゃんの参加等楽しい夏祭りになりました。



#### 2. こころの健康づくり講演会:8月28日(牧之原市菅山公民館)

「心の病がありながら生きる人たちについて」静岡県精神保健福祉協会との共催で地域住民の方約50人に参加していただき、精神障害者の差別や偏見はなぜ生まれたか、統合失調症とはどんな病気か、心に等について聴講していただきました。



#### 3. 職員研修:9月1日(ハートケアセンターこころ)

職員研修は年に数回行っていますが、9月は各事業所で当事者活動についてとは何かについてミーティングを重ね自分たちが考える当事者活動を発表しました。なお、27年3月には「具体的な実践を通して当事者活動を考える」で研修会を予定しています。



#### 4. 第3回法人内交流会:11月14日(牧之原市海浜体育館)

全事業所の利用者と職員114人集まり、ゲームは利用者・職員混合チームで点数を競う熱い戦いが、レクリエーションはおしまちゃん音頭等を全員で輪になって踊り、和気あいあいの交流会になりました。



### 5. 第11回もちつき大会：12月6日（ハートケアセンターこころ）

昨年と同様、約300人参加のもちつき大会となり、バルーンアート実演、近隣の「きらり」さん、吉田町「レタスクラブ」さんのステージ発表、農産物販売等もあり近隣の皆さま、学生ボランティア、当事者にも喜んでいただけたもちつき大会でした。



### 今後の主なイベント予定

詳細は後日、こころ通信、ホームページ等に掲載します。

こころと福祉のセミナー

日 時：3月14日（土）午後1時予定

場 所：牧之原市坂部区民センター

内 容：一部 4事業所利用者によるいいこと発表会  
 二部 講演会（人権について）

### 助成ありがとうございました。平成26年6月～12月分

静岡県社会福祉協議会：平型冷蔵庫購入助成	イーパーツ：パソコン2台
静岡県精神保健福祉協会：こころの健康づくり講演会助成	

### ご寄付ありがとうございました。平成26年6月～12月分

順不同・敬称略

大崎初枝	武井暢子	伊藤かね子	牧之原キリスト教会	島田LC
三浦守	太田もと子	近藤容子	波津第一ブロック	榛南LC
豊岡区	阿部虎之助	田中達雄	歌踊ユニオン	川根LC
鈴木康允	マルハン島田	ハラダ製茶	志太製茶協議会	野菜茶業研究所
高桑義男	大江区	田平鉄工所	明るい社会づくり運動	地友会

### 賛助金ありがとうございました。平成26年6月～12月分

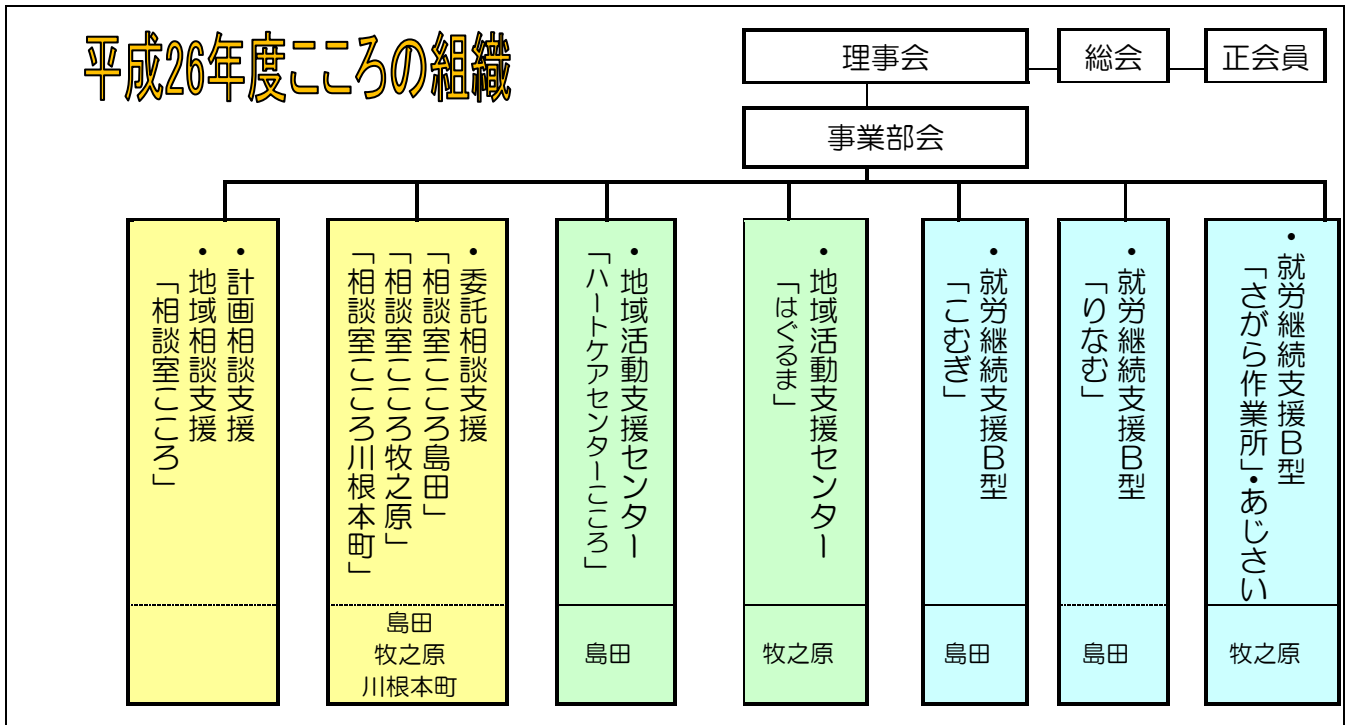
順不同・敬称略

あかり株式会社	小田部雄次	(株)増商	長坂和則
アクトホーム(株)	(株)大石時計店	奥村敦毅	平岡良江
仲田モータース	S. T. P会	(有)竹内工務店	福地美知子
エースクリーニング(株)	こすもす	(株)塚本工務店	牧野高彦
シミックCMO(株)	(有)児玉産業	(株)寺田製作所	三浦なつ子
(株)沖金物店	後藤俊一	中川正彦	森佳久
(有)五島不動産	近藤容子	中島義夫	山本 勇
沼津熔銅(株)金谷工場	鈴木勝	鷲山睦美	高桑義男
たぐちクリニック			

### 訃 報

当法人監事の鈴木民子さんが12月12日に59歳にて永眠されました。  
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

# 平成26年度こころの組織



## こころの自主製品

自主製品のお問い合わせは各事業所にお電話下さい。

<p>石けん</p>  <p>648円/個～</p>	<p>焼菓子</p>  <p>100円～300円</p>	<p>パン</p>  <p>90円～160円</p>
<p>トイレットペーパー</p>  <p>80円/個</p>	<p>乾燥系こんにやく</p>  <p>10個入り：540円</p>	<p>軒花</p>  <p>60円</p>
<p>キーマカレー</p>  <p>550円</p>	<p>おさるさん</p>  <p>2,000円～3,500円</p>	<p>せんべい</p>  <p>100円/ (2個)</p>